

基礎調査、意向調査（案）の内容について

調査名	調査対象者・調査場所など	調査方法など	主な調査項目	調査のねらい
①市民アンケート	15 歳（高校 1 年生）以上の市民から無作為抽出 3,000 人	調査方法：郵送送付・回収 WEB 回答併用 期 間：2 週間	○回答者の属性 ○自動車の保有状況や運転免許返納状況並びに意向 ○日常生活の外出行動（頻度、行き先、交通手段） ○日常の移動のしやすさ（困り具合） ○公共交通の利用実態、サービス満足度 ○公共交通の利用意向（行き先、目的、頻度等） ○公共交通の今後のあり方（取組みの方向性等）	○市民の外出実態・ニーズと公共交通サービスとのチェックによる公共交通の最適化 ○公共交通に対する潜在需要・ニーズ ○公共交通に対する住民の理解度、地域負担のあり方（住民意識の醸成） ○公共交通の利用促進方策の検討へ反映 ○コミュニティバス廃止後の代替輸送手段の需要調査
②高校意向調査	市内高校（八潮フロンティア高等学校） 通学者約 700 人、教諭 70 人（令和 8 年 4 月時点）	調査方法：チラシ配布、WEB 調査 タブレット回答想定 期 間：1 週間	○回答者の属性（学生） ○登下校・在校時間の把握 ○登下校における公共交通の利用実態、サービス満足度 ○回答者の属性（教諭） ○学生の登下校の課題 ○行政・交通事業者との通学環境改善に向けた連携・協力の取組み可能性	○学生の登下校・在校時間や公共交通（鉄道、バス、タクシー）の利用状況を把握 ○教育現場の視点から通学環境改善・向上の意見を取り入れる
③路線バス利用者意向調査	対象者：路線バス利用者（配布 2,000 セット想定） 場 所：八潮駅前広場 2 箇所 八潮市役所 1 箇所 草加駅東口広場 2 箇所	調査方法：WEB 調査主体 調査票＋封筒配布を併用 期 間：平日 1 日、休日 1 日 07：00 から 20：00	○利用者の属性 ○利用目的及び利用頻度 ○運行サービスに対する満足度 ○効果的な利用促進策	○路線バスの利用状況及び利用 OD（出発地・目的地）や路線バスに対する要望を把握
④八潮市コミュニティバス意向調査	全利用者を対象（配布 500 セットを想定）	調査方法：WEB 調査主体 調査票＋封筒配布を併用 期 間：平日 1 日、休日 1 日 始発から最終	○利用者の属性 ○自動車の保有状況や運転免許返納状況並びに意向 ○利用目的、利用頻度 ○コミュニティバス廃止後の代替移動手段の有無 ○デマンド運行の利用意向 ○運行サービスの満足度、改善して欲しいサービス	○八潮市コミュニティバスの利用状況や利用 OD（出発地・目的地）を把握するとともに、令和 8 年度 3 月末の西ルート撤退及び令和 9 年度 3 月末の北ルート撤退が現在の利用者に与える影響、ならびにデマンド運行の利用意向を確認
⑤主要施設利用者意向調査	主要施設の利用者を対象（配布 1,000 セットを想定） 医療施設：広瀬病院、八潮中央総合病院、埼玉回生病院 大規模店舗：ベルク八潮鶴ヶ曽根店、イオン八潮南店、フレスポ八潮 公共施設：八潮市役所・八潮メセナ、 八潮市老人福祉センター、八條・八幡公民館	調査方法：WEB 調査 ヒアリング併用 期 間：平日 1 日	○回答者の属性 ○自動車の運転免許保有状況や運転免許返納状況並びに意向 ○施設の利用頻度、施設まで（から）の利用交通手段 ○施設へ移動する際の不便度、公共交通の改善点	○市内の主要施設における利用者の移動手段の把握
⑥事業者意向調査（関係団体）	運行事業者、八潮市商工会、八潮市観光協会、八潮市社会福祉協議会、地域包括支援センター、八潮市自立支援協議会運営会 ※運行事業者は、別途ヒアリングを実施予定	調査方法：メール＋PDF 配布、 WEB 調査 （運行事業者はヒアリング調査） 期 間：2 週間	○公共交通との連携・協力した取組み可能性 ○公共交通に関して寄せられている声、改善要望《八潮市商工会、八潮市観光協会》 ○観光客の利用状況や利用特性 ○観光・商業などまちづくりを取り巻く問題点・課題《八潮市社会福祉協議会》 ○移動支援事業の概要や利用状況《社会福祉協議会、地域包括支援センター》 ○ライドシェア導入にあたっての協力可否	○公共交通の利用促進方策の検討へ反映（まちづくりや活性化施策との連携）
⑦公益施設意向調査	市内の公益施設（約 250 施設、医療施設、社会福祉施設、商業施設等） ※施設の特性により、公共施設を調査対象に含む場合がある	調査方法：郵送送付、WEB 調査 期 間：2 週間	○施設の利用実績 ○施設付近の道路状況 ○利用者からの移動に関する要望	○市内の公益施設における利用者の移動需要の把握、および駐車場や乗降場設置の可能性を確認